

米国 緩やかに鈍化していることを示唆(07年2月フィラデルフィア連銀製造業景況指数)

2007年2月15日(木)

～2月の全米の製造業景況感は改善する可能性～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治(かつらはた せいじ)

 (03-5221-5001 : sei.ji@dlri.dai-ichi-life.co.jp)

フィラデルフィア連銀製造業景況指数

	現状 総合	新規受注	出荷	在庫	雇用	出荷遅延	受注残	販売価格	仕入れ価格	交易条件	6ヵ月先見通し 総合
06/03	12.9	21.1	23.2	11.6	7.0	2.5	4.0	15.7	22.5	▲ 6.8	18.7
06/04	11.7	12.0	17.7	▲ 9.7	16.3	▲ 2.9	5.6	15.1	30.4	▲ 15.3	26.1
06/05	13.6	3.5	14.0	▲ 5.3	2.9	9.0	▲ 2.8	11.3	53.9	▲ 42.6	22.2
06/06	12.1	17.2	18.3	▲ 3.5	8.2	0.2	▲ 0.7	16.0	49.3	▲ 33.3	9.6
06/07	6.5	9.9	10.7	0.5	11.7	▲ 1.3	▲ 6.5	17.6	49.5	▲ 31.9	15.2
06/08	12.6	12.8	20.3	6.8	8.1	1.4	▲ 2.0	17.3	46.6	▲ 29.3	6.9
06/09	2.3	0.2	▲ 4.4	4.7	10.3	0.0	▲ 3.8	20.0	37.8	▲ 17.8	2.5
06/10	2.3	10.7	6.1	10.9	10.4	▲ 4.8	▲ 10.5	17.2	32.7	▲ 15.5	16.9
06/11	5.4	▲ 1.1	7.8	5.3	3.0	1.8	▲ 5.5	7.4	25.2	▲ 17.8	9.1
06/12	▲ 2.3	▲ 0.9	14.0	▲ 0.9	7.5	▲ 4.9	▲ 18.6	8.9	19.0	▲ 10.1	5.4
07/01	8.3	1.3	23.9	0.4	7.9	▲ 7.1	▲ 15.4	11.6	11.9	▲ 0.3	22.4
07/02	0.6	▲ 0.5	1.7	▲ 1.9	▲ 0.4	▲ 6.3	▲ 10.5	9.4	15.8	▲ 6.4	20.3

(出所)フィラデルフィア連銀

0.6と前月から7.7 ポイント低下

2007年2月のフィラデルフィア連銀製造業景況指数(フィラデルフィア連銀管轄地区の製造業、ゼロが拡大縮小の分岐点)は+0.6と市場予想の+4.1を下回り前月から7.7ポイント低下した。この統計は月次での変動が大きいいため3ヵ月移動平均でみると、総合指数は同地区製造業部門が緩やかな鈍化傾向を辿っていることを示している(2Pグラフ参照)。

目先生産の拡大ペース鈍化が続く可能性

個別にみると、新規受注がマイナスに転じたことから、目先同地区の生産の拡大ペース鈍化が予想される。インフレ面では、仕入れ価格が上昇しており川上からのインフレ圧力がやや強まっている。一方、販売価格が前月からプラス幅を縮小したことから、交易条件のマイナス幅が拡大しており、引き続きコスト削減圧力が強いことが示された。このような中、雇用指数が▲0.4と2003年9月以来初めてマイナスに転じ、同地区製造業雇用の減少が示唆されている。

半年後の見方は楽観的

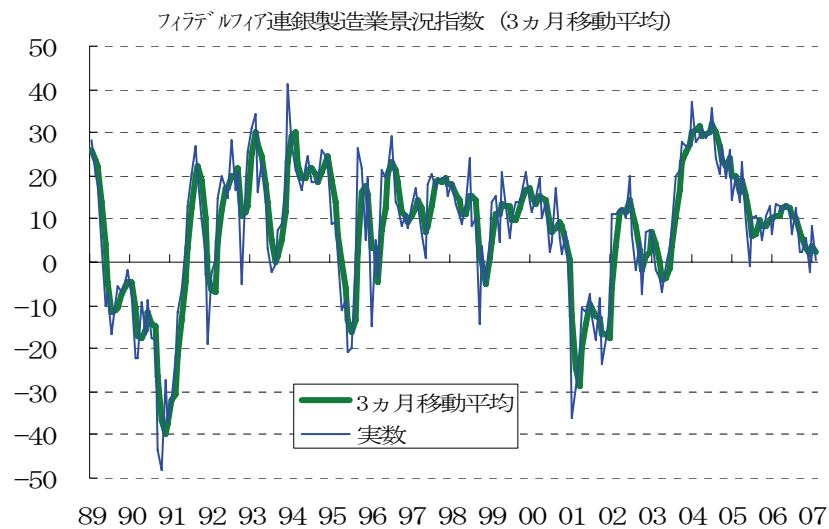
先行きに関する調査では、半年後の景況感を示す指数が+20.3と1月の+22.4からほぼ変わらず、半年後の受注も前月から上昇するなど先行きに対する楽観的な見方が強い。半年後の収益環境では、「販売価格が上昇するとの見方の割合」の低下幅が、「仕入れ価格が上昇するとの見方の割合」のそれを上回っていることから、今後交易条件がさらに悪化することが予想されている。このような見通しのもと、在庫の減少が予想されており企業はコスト抑制のために在庫の削減を継続すると見込まれる。さらに、半年後の労働時間、雇用ともに前月から低下しており、雇用コストの抑制も示唆される。

以上のように、今後も企業はコスト削減策を継続する可能性が高いことが示されている。ただし、そのような中でも半年後の設備投資見通しが+18.7と前月から低下したも

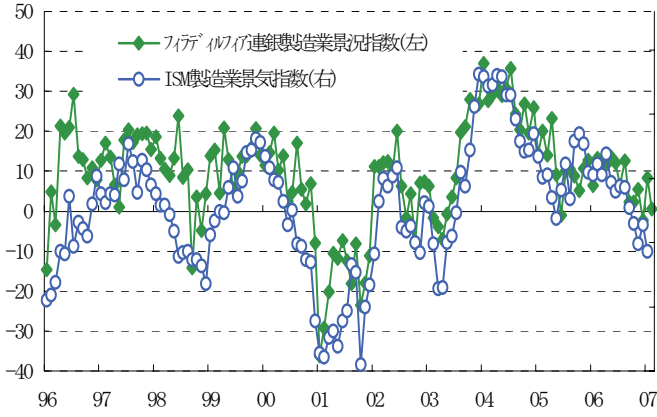
のの高い水準を維持しており、設備投資は堅調に推移する可能性が高い。

2月のISM製造業 景気指数は前月か ら上昇する可能性

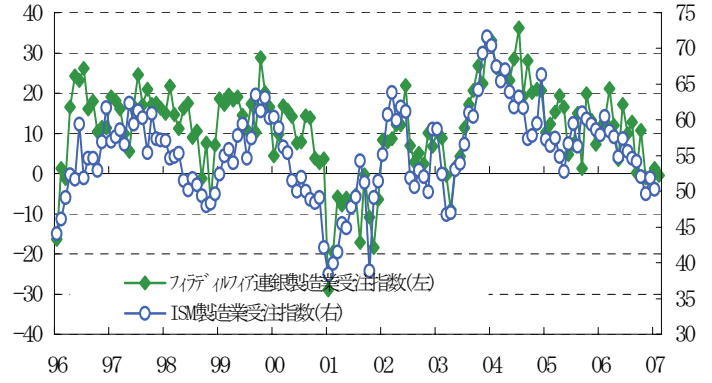
フィラデルフィア連銀製造業景況指数は、ペンシルベニア州東部、デラウェア州、ニュージャージー州南部の製造業の景況感を表す指標であるが、全国の製造業の景況感を示すISM製造業景気指数と似た動きをすることが多い。2月にフィラデルフィア連銀製造業景況指数が低下した一方で、NY連銀製造業景況指数（エンパイア・ステイト景況指数）が前月から上昇した。加えて、ISM製造業景気指数に先行するISM製造業新規受注・在庫比率が1月に上昇したことから判断すると、2007年2月のISM製造業景気指数は1月の49.3から50.54への上昇が見込まれる。



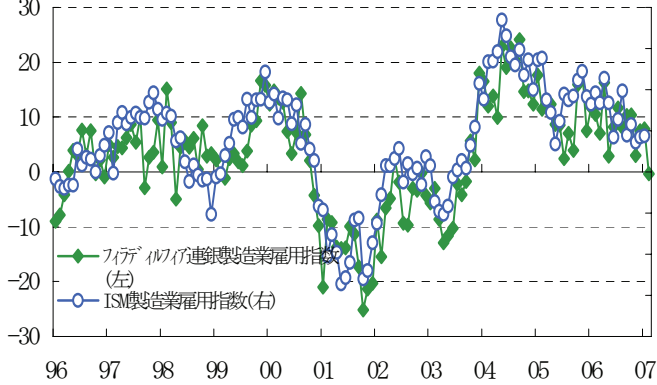
フィディアルワイ連銀製造業景況指数とISM製造業景況指数の推移



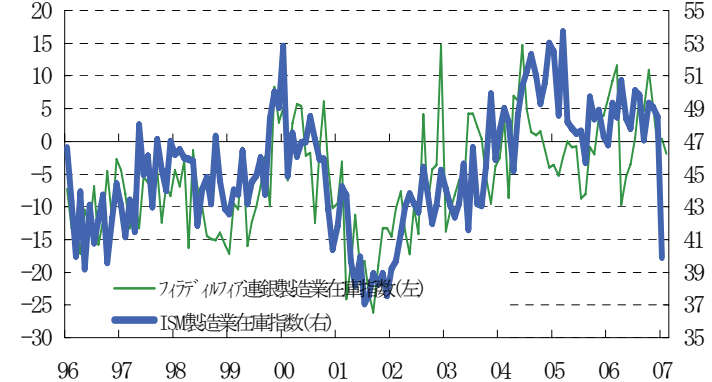
フィディアルワイ連銀製造業受注指数とISM製造業受注指数の推移



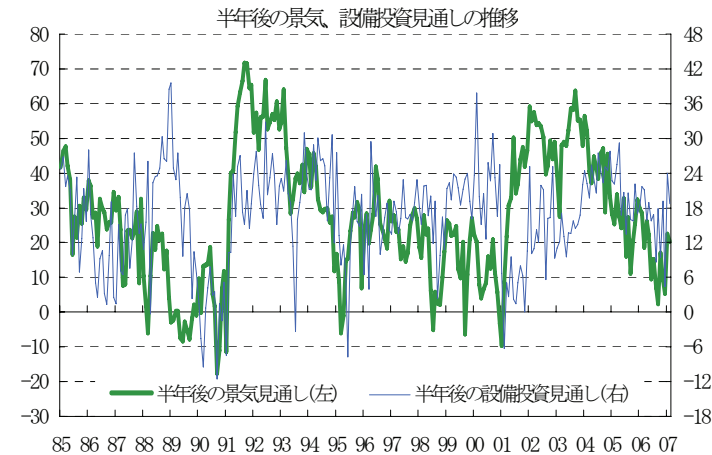
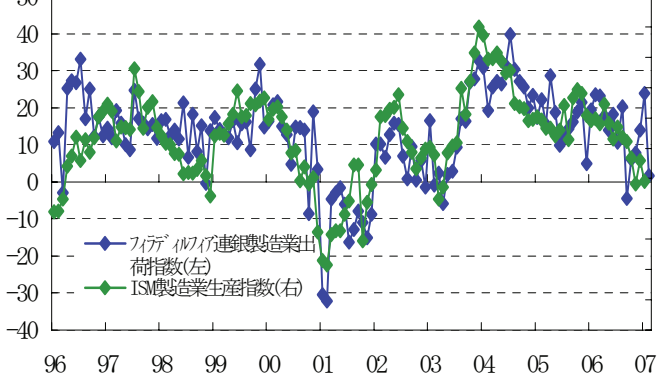
フィディアルワイ連銀製造業雇用指数とISM製造業雇用指数の推移



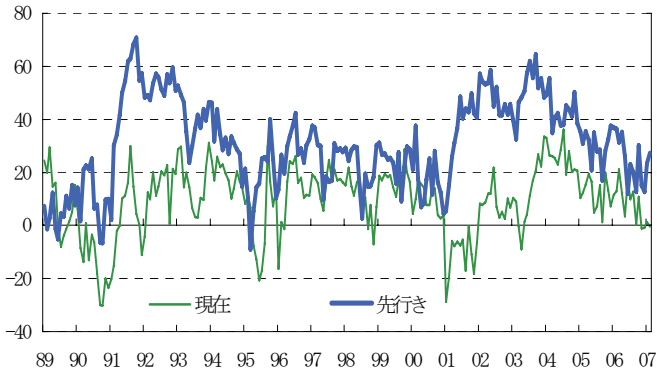
フィディアルワイ連銀製造業在庫指数とISM製造業在庫指数の推移



フィディアルワイ連銀製造業出荷指数とISM製造業生産指数の推移



現在と先行きの新規受注の推移



NI連銀製造業景況指数の推移



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。